

# 「ICT ふれあいサロン」今後の運営について（案）

令和7年10月

## 1. 現状と課題

### （1）現状

「ICT ふれあいサロン」は、もともと来館者が互いに教え合い、対話の中で学ぶことを目的として中央図書館内に設置された。指導ボランティアの常駐により、パソコンやインターネットに不慣れな方を優しく支え、図書館来館の動機づけにも一定の役割を果たしてきた。

現在は、主に以下のような利用が中心となっている。

- ①パソコンやインターネットの基本操作に関する質問
- ②自治会会計報告書の作成（Excel）
- ③年賀状や案内文書の作成（Word 等）

しかし、開設から年数が経過し、次のような課題が顕在化している。

### （2）課題

- ①機材面：設置ノート PC（6 台）は Windows10 機であり、Windows11 へのアップデート非対応。サポート終了（2025 年 10 月 14 日）により、インターネットに接続したままの運用はリスクが高く、接続を継続することができない。
- ②財政面：新機種への更新は市財政的に困難。最低限の安全対策として、スタンドアロン（オフライン）運用へ移行予定。
- ③人的資源：指導ボランティアの高齢化が進み、新たな技術への対応が難しくなっている。新規ボランティア確保も困難な状況。
- ④利用状況：利用者数は年々減少しており、開設目的であった「利用者同士の交流」よりも「個別サポート」への依存傾向が強い。

○延べ利用者数

・ R4・・・1,104 人   ・ R5・・・1,040 人   ・ R6・・・976 人

上記のような要因により、従来の規模や方式での継続は、費用対効果やリスク管理等の観点から現実的でないと判断せざるを得ない。

## 2. 指導ボランティアからの意見

令和7年9月28日にボランティアの皆さんにお集まりいただき、意見交換会を実施。今後の運営方針に関して以下のような意見が出された。

### (1) 全体的な方向性

- ・ Windows10 サポート終了後は、ノート PC をインターネット非接続とする。
- ・ インターネット停止については、広報紙・HP・館内掲示で周知する。
- ・ 持ち込み PC は従来どおり Wi-Fi 接続を継続。
- ・ 開催曜日の縮小や段階的閉鎖を検討し、利用状況を見ながら閉鎖時期を決定する。

### (2) 個別意見

- ・ スタッフ用の Windows11 機を利用者と共用してはどうか。  
→1 台だけでは順番待ちやトラブルの原因となる。
- ・ ICT の魅力を高齢者にも伝えたい。学びの場としての価値を残したい。
- ・ 高齢者の困りごとを支えたいが、技術進化に追いつけない。急な閉鎖ではなく、段階的縮小を希望。
- ・ 若いスタッフが増えないなら自然消滅もやむを得ない。サポート範囲の見直しも必要ではないか。

## 3. 今後の方向性

### (1) 段階的縮小の実施

当面は、利用状況の推移を把握し、新規利用者の減少・ボランティア体制の維持困難が明確になった段階で、年度末を目途に閉鎖判断を行う。閉鎖後は、希望するボランティアの方がいれば、自主サークル化を支援する。

### (2) 機材の安全運用

Windows10 端末はインターネットから切り離し、文書作成や表計算などスタンドアロン用途に限定して運用。ただし、持ち込み PC 利用者は Wi-Fi 利用可能とし、館内での安全なネット利用マナーを再周知する。

### (3) ボランティア体制の見直し

若年層や地域 ICT 人材の参加促進を模索するが、現状では難航。

## 4. 結論（提案）

「ICT ふれあいサロン」は、当初目的であった「交流・学習の場」としての役割を一定程度果たしてきたが、現在は設備・人員・利用状況の面で継続的運営が困難。

今後は、段階的な縮小を行いながら、利用状況を見て閉鎖を検討する。